

コロナ禍で、日本で暮らす外国人が苦境に追い込まれている。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんに、日本社会がはらむ「外国人差別」について聞いた。【聞き手・古屋敷尚子、写真も】

コロナで変わる世界

国籍で支援線引き

— 新型コロナウィルスにより、派遣社員や技能実習生として働く外国人の生活が苦しくなっています。現状をどうみていますか。
◆日本は人手不足解消のために入管法を改正し、外国人労働者の受け入れを拡大してきた。コロナにより収入が減るなど、生活は困窮しているが、日本の政治は彼らに冷たい。政府は、都合の良いときには受け入れて、都合が悪くなれば切り捨てている。
なかでも驚いたのが、一部の自民党議員が当初、1人当たり10万円の特別定額給付金を支給するにあたり、日本国籍者と日本国籍でない人の間に線引きをしようとしていたことだ。また、政府は当初、日本への入国について日本国籍者は認めるのに、同じ地域の外国人の入国は拒み続けてきた。何の科

許されぬ官製ヘイト



フォトジャーナリスト

安田 菜津紀さん

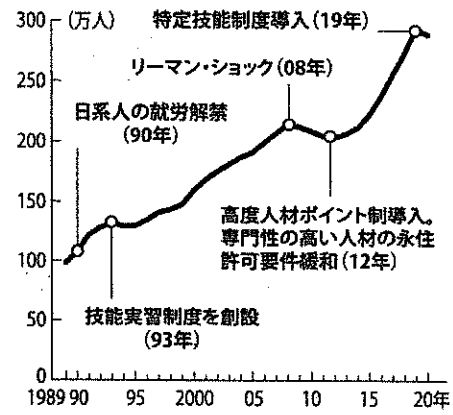
やすだ・なつき 1987年、神奈川県生まれ。上智大卒。中東や東南アジア、東日本大震災後の東北などで難民や貧困、災害をテーマに取材。テレビのコメンテーターとしても活躍中。

学的な理由もない、根拠のない線引きがコロナ禍で起きた。
外国人はきっと日本国籍者よりもルールを破るはずだから、悪いことをするはずだから管理しなけれはならない、と考えていることが透けて見える。生活者または人権のある人間としてみていければ、そのようなことはしないはずだ。こういった政府の姿勢は、官製ヘイトにつながる。

— 実際に、官製ヘイトが起きたのでしょうか。
◆コロナの感染拡大に伴い、飲食店の店頭で「ジャバニーズ・オンリー」という張り紙を見た。感染予防をしないのはならないという思いが、根拠のない排斥につながったのだと思う。一方、さいたま市も幼稚園などにマスクを配る際、対象から朝鮮学校の幼稚園を外すとした。政府や自治体が、市井

で起きている差別にお墨付きを与えてしまっているのではないかと。
— 群馬県が9月、1週間の新規感染者の7〜8割が外国籍とみられると公表しました。どう受け止めましたか。
◆外国人という大きな枠でくくられることで、感染が起きている他の外国人コミュニティにも「あいつらじゃないか」という目が向けられる。不可解で、深刻な犯罪が起きた時、「外国人」という言葉が飛び交う。「こんなことをするのは日本人ではない。外国人の仕業だ」という主張がネットを中心に巻き起きている。東日本大震災では、外国人窃盗団が犯罪をして回っているというテーマが、すぐに拡散した。「まさか私たちが

日本で暮らす外国人は急速に増えてきた



※法務省の在留外国人統計などから作成。2020年は6月末現在、他は12月末現在

所属している日本社会の人間がこんなことほしくない。外国人がやっかに違いない」と思考を停止させている。
外国人という言葉は、排除・排斥するために使われることが往々にしてあり、差別と密接に関わっている。公的機関の発表のやり方次第では、「ほら、外国人は」ということになる。今回の公表はそういう意味で、安易だったと言わざるを得ない。

— 外国人はコロナ禍で、暮らしていくようになっていのでしょうか。
◆民間が主催する外国人向けの生活相談会に行く、家賃の支払いに困っている人がたくさんいる。日本で育った日本人でさえ、家賃を1、2カ月払わなくても居

行政仕組み高い壁
外国人はコロナ禍で、暮らしていくようになっていのでしょうか。
◆民間が主催する外国人向けの生活相談会に行く、家賃の支払いに困っている人がたくさんいる。日本で育った日本人でさえ、家賃を1、2カ月払わなくても居

う人も多い。日本社会の目は不法滞在者に厳しいが、一つのルールに触れてしまった人にも人権はある。労働の許可も下りず、わずかな支援者と親類を頼って生活してきたのに、コロナで親類の収入も断たれ、生活が困窮している。
— コロナで、日本社会が抱えるさまざまな問題が表に噴き出したように見えます。

◆難民申請をしている人たちが支援する情報を発信してきたが、ネット上ではものすごい中傷を受けることがある。コロナが起きて、より苛烈になった印象だ。コロナでみんなが大変だからこそ、どうやって共に生きていくのかということを考えるべきで、排斥するという安易な方向に向かわないでほしい。

ただ、悪い影響ばかりではない。特定非営利活動法人「移住者と連帯する全国ネットワーク」が、コロナで困窮している外国人に支援金を渡すため、寄付を募った。不法滞在者への風当たりが強いが、当初は集まるのが危惧していたが、予想をはるかに上回る約300万円が集まり、難民申請者やオーバーステイの元実習生らを支援できた。コロナ禍でいろいろな差別が露呈した反面、自分たち以上に困っている人たちがいることに気付く人も増えたのではないだろうか。一過性に終わらせず、より多くの人たちの気付きを集め、政策に反映させられれば、と思う。